KANSAI OPENFACTORY FORUM vol.10

定員 80名

交流と共に地域を振り返る
”手段”としての
オープンファクトリーの可能性

2022 MON 9.12

時間 ≫ 14:00～16:00

場所 ≫ 丹波篠山市民センター
（兵庫県丹波篠山市黒岡191）

基調講演

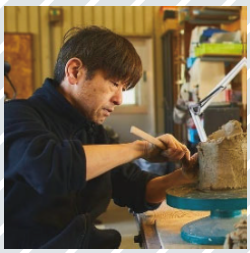
交流と共に地域を振り返る”手段”としてのオープンファクトリー

COS KYOTO株式会社　代表取締役
一般社団法人 Design Week Kyoto
実行委員会　代表理事

北林　功 氏

パネルディスカッション

商流を“越境”する意義



丹波篠山クラフトヴィレッジ
製作委員会　代表

加古　勝己 氏

丹波立杭陶磁器協同組合
理事長

市野　達也 氏

植山繊物株式会社
代表取締役

植山　展行 氏

COS KYOTO株式会社　代表取締役
一般社団法人 Design Week Kyoto
実行委員会　代表理事

北林　功 氏

【進行】
近畿経済産業局

津田　哲史

参加のご案内

下記サイトからお申し込みください。

なお、本セミナーは会場でのリアル開催とさせていただきますが、時勢に応じてハイブリット開催、または現場の様子を後日動画配信する形で対応を変更させていただく場合がございます。
あらかじめご了承ください。

イベントのご案内

丹波篠山クラフトヴィレッジ 2022.10.29(SAT)~11.03(THU)
- 王地山クラフトマーケット（29日～30日）
- オープンスタジオ（29日～3日）

丹波焼陶器まつり「秋の郷めぐり」 2022.10.06(SAT)~10.23(SUN)

主催：経済産業省近畿経済産業局　共催：丹波篠山クラフトヴィレッジ製作委員会
協力：丹波篠山市　丹波立杭陶磁器協同組合

古くから丹波焼をはじめとした工芸が息づくまち、丹波篠山。
毎年、春は多くの方々に丹波焼をもっとよく知ってもらうことを目的に『春ものがたり』を開催し、窯元の工房での仕事を公開する「開放(オープン)工房」が人気となっています。
また、秋には陶器の販売を主体とした『陶器まつり』を開催し、その回数は計45回を数え、秋の一大イベントとなっています。
さらに、最近では市内に移住して工房を構える、木工や革、ガラスなどの工芸家の方々の増加が目立つようになったことから、「作り手」と「使い手」の想いがつながるイベント『丹波篠山クラフトヴィレッジ』が2021年秋にスタートしました。
『丹波篠山クラフトヴィレッジ』は、丹波篠山市を舞台として繰り広げられる地域一体型オープンファクトリー。40以上の工芸家が参加し、マーケットのほか、工芸家をめぐるクリエイティブツアーを実施するなど、「現場交流」を促す取組となっています。

同様に関西においては、地域一体型オープンファクトリーの機運が高まっています。
そこで、同じ丹波路で繋がる京都や丹後などの地域の魅力を演出する『DESIGN WEEK KYOTO』を開催し、先駆的事例として牽引する北林氏の基調講演とともに、 近隣で播州織をリソースとして交流機会を促進している植山織物株式会社、そして丹波篠山市内で各取組に関わるキーパーソンの皆様によるパネルディスカッションによって、参加者の新事業へのヒントや新たな繋がりの創出、地域におけるオープンイノベーションの推進を目指します。
今後、「オープンファクトリー」に取り組みたい、またはこのような各地のオープンファクトリーとの協業をご検討される関西各地の企業の皆様、自治体、金融機関など支援機関の皆様の幅広いご参加をお待ちしております。

PROGRAM

14:05～14:20　情報提供：関西における地域一体型オープンファクトリーの広がりと開催におけるポイント

近畿経済産業局
中小企業政策調査課
七原　悠夏

ものづくり企業が生産現場を外部に公開したり、来場者にものづくりを体験してもらうオープンファクトリー。近年は企業単体で無く、地域を一体的に見せていく「地域一体型オープンファクトリー」へと進展を遂げている。
今回はそうした取組が関西に広がっている現状のご紹介と、各地の取組において「大切」にされているポイントについて紹介する。

14:20～15:00　基調講演 ：交流と共に地域を振り返る”手段”としてのオープンファクトリー

COS KYOTO株式会社 代表取締役
一般社団法人Design Week Kyoto
実行委員会 代表理事
北林　功　氏

大阪ガス株式会社での法人営業、株式会社グロービスでのコンサルタントを経て、持続可能で心豊かな社会構築のため地域に根づく「文化ビジネス」をサポートするCOS KYOTO株式会社を2013年に設立。
2016年より京都市を中心にDESIGN WEEK KYOTOを開始し、2021年には京都府北部の丹後地域にも開催エリアを拡大した。

15:10～16:00　パネルディスカッション：商流を”越境”する意義

丹波篠山クラフトヴィレッジ製作委員会
代表　加古　勝己　氏

京都市出身の丹波陶磁の陶芸家。
京都・西脇・丹波篠山と活躍の場を移しながら数々の作品を生み出す一方、山の楽しさなど地域の魅力発信に尽力するキーパーソン。工芸家の移住者が増える丹波篠山市で、ゆるやかなネットワークを求める声を「CRAFT VLLAGE」という形で実現。

丹波立杭陶磁器協同組合
理事長　市野　達也　氏

日本六古窯のひとつ丹波焼の窯元、『市野伝市窯』の二代目。伝市鉢と呼ばれる植木鉢を中心に作陶し、海外からの注文があるなど世界から注目を浴びている。
丹波立杭陶磁器協同組合の理事長でもあり、伝統技術の継承と後継者の育成に尽力している。組合主催のイベント「春ものがたり」や「陶器まつり」でも運営側として力を発揮している。

植山織物株式会社
代表取締役　植山　展行　氏

1948年創業の植山グループ4代目。自社生地ブランド「shuttle notes」 をはじめ、布を織る工場から、自ら企画・販売する会社へと成長。世界に5拠点のネットワークを持ち、グローバル展開も行う。2019年にForbes JAPAN主催「SMALL GIANTS AWARD」にて「ローカルヒーロー賞」受賞。
「播博」「リアル播州織」にも参画。

COS KYOTO株式会社 代表取締役
一般社団法人Design Week Kyoto
実行委員会 代表理事　　北林　功　氏

【進行】
近畿経済産業局　津田　哲史

経済産業省
近畿経済産業局

【お問い合わせ】
経済産業省近畿経済産業局
総務企画部　中小企業政策調査課　TEL:０６-６９６６-６０５７